

平成30年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）



平成30年1月10日

上場会社名 株式会社ANAP 上場取引所 東
 コード番号 3189 URL <http://www.anap.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家高 利康
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長 (氏名) 大矢 正幸 TEL 03-5772-2717
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第1四半期の業績（平成29年9月1日～平成29年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第1四半期	1,586	1.0	97	186.1	101	202.6	91	319.7
29年8月期第1四半期	1,571	△6.3	34	—	33	—	21	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第1四半期	21.32	20.28
29年8月期第1四半期	5.33	—

(注) 前第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年8月期第1四半期	2,767	1,579	57.1	363.73
29年8月期	2,608	1,469	56.3	346.72

(参考) 自己資本 30年8月期第1四半期 1,579百万円 29年8月期 1,469百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年8月期	—	—	—	—	—
30年8月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年8月期の業績予想（平成29年9月1日～平成30年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,913	1.0	250	23.3	247	22.7	217	15.9	51.40

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年8月期1Q	4,585,000株	29年8月期	4,481,000株
② 期末自己株式数	30年8月期1Q	243,268株	29年8月期	243,268株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年8月期1Q	4,276,644株	29年8月期1Q	4,074,852株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（平成29年9月1日から平成29年11月30日まで）におけるわが国経済は、株高に下支えされた企業収益により雇用・所得環境の改善が見受けられるものの、一方で、世界的な地政学リスクの高まりなどもあり、個人消費は、投資への慎重姿勢や節約志向による伸び悩み等から、先行き不透明な状況での推移となりました。

当社が属するカジュアルファッション業界におきましても、ネット通販上の拡大などが見られる一方、消費低迷は依然として続いており、お客様の慎重な購買行動が継続しております。

このような状況の下、当社は平成28年4月から開始いたしました再生プロジェクトの第1段階である、店舗の再生及び粗利率改善等が本格的に寄与いたしました。また、当期より再生プロジェクトの第2段階として、春夏利益偏重型からの脱却を目指し、秋冬商材を強化し、フルシーズン型への転換を開始いたしました。

以上の結果、売上高につきましては、インターネット販売事業が主たる事業として牽引し、店舗販売事業においても、前期以前に退店したことによる減少以上に既存店舗が好調だった結果、1,586百万円（前年同四半期比1.0%増）となり増収となりました。営業利益につきましては、粗利率改善等により97百万円（前年同四半期比186.1%増）となり、経常利益につきましても、101百万円（前年同四半期比202.6%増）となりました。四半期純利益につきましては、不採算店舗の退店に伴う解約違約金6百万円を特別損失へ計上した一方、税効果会計における繰延税金資産を計上したことにより、91百万円（前年同四半期比319.7%増）となりました。すべての段階利益で増益となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

（インターネット販売事業）

インターネット販売事業につきましては、他社サイトが順調に推移した結果、売上高が増加いたしました。一方、利益面に関しましては、自社サイト強化のための外部スペシャリストによる検証、改善を当期より開始した影響により減少しております。

以上により、売上高は943百万円（前年同四半期比1.0%増）、セグメント利益は141百万円（前年同四半期比7.5%減）となりました。

（店舗販売事業）

店舗販売事業につきましては、前事業年度末より退店2店舗を行った結果、当第1四半期会計期間末における店舗数は40店舗になりました。前期以前に退店したことによる影響以上に既存店舗が好調だった結果、売上高は増加し、利益面に関しましても、売上高増収効果及び退店店舗の経費圧縮効果により改善されました。

以上により、売上高は584百万円（前年同四半期比1.5%増）、セグメント利益は48百万円（前年同四半期はセグメント損失37百万円）となりました。

（卸売販売事業）

卸売販売事業につきましては、既存の取引先に対する販売減少に伴い、売上高が減少しております。

以上により、売上高39百万円（前年同四半期比21.6%減）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期比5.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は2,310百万円となり、前事業年度末に比べ126百万円増加いたしました。これは主に、商品及び製品が247百万円増加した一方で、現金及び預金が132百万円減少したことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は457百万円となり、前事業年度末に比べ32百万円増加いたしました。これは、有形固定資産が13百万円、無形固定資産が6百万円、投資その他の資産が12百万円それぞれ増加したことによるものです。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は819百万円となり、前事業年度末に比べ81百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が83百万円、その他が46百万円増加した一方で、未払法人税等が14百万円、賞与引当金が27百万円それぞれ減少したことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は368百万円となり、前事業年度末に比べ32百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が34百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は1,579百万円となり、前事業年度末に比べ109百万円増加いたしました。これは、四半期純利益計上に伴い利益剰余金が91百万円、新株予約権の行使による株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ19百万円増加した一方で、配当金の支払により利益剰余金が21百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年10月10日の「平成29年8月期 決算短信[日本基準] (非連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,106,771	973,824
受取手形及び売掛金	397,850	395,909
商品及び製品	572,887	820,301
仕掛品	524	639
原材料及び貯蔵品	4,021	3,431
その他	110,314	122,071
貸倒引当金	△8,296	△6,011
流動資産合計	2,184,074	2,310,166
固定資産		
有形固定資産	111,807	125,249
無形固定資産	31,526	37,583
投資その他の資産		
敷金及び保証金	244,865	234,439
その他	36,896	59,745
貸倒引当金	△357	-
投資その他の資産合計	281,404	294,184
固定資産合計	424,739	457,017
資産合計	2,608,813	2,767,183
負債の部		
流動負債		
買掛金	175,035	258,878
短期借入金	150,000	150,000
未払法人税等	38,943	24,130
賞与引当金	31,500	4,500
返品調整引当金	200	200
資産除去債務	27,655	20,183
その他	314,756	361,349
流動負債合計	738,090	819,241
固定負債		
長期借入金	116,800	81,808
退職給付引当金	182,689	185,362
資産除去債務	101,143	101,560
その他	803	-
固定負債合計	401,435	368,731
負債合計	1,139,526	1,187,973

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	339,760	359,676
資本剰余金	644,244	664,160
利益剰余金	560,929	630,916
自己株式	△76,089	△76,089
株主資本合計	1,468,844	1,578,664
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	442	546
評価・換算差額等合計	442	546
純資産合計	1,469,287	1,579,210
負債純資産合計	2,608,813	2,767,183

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
売上高	1,571,369	1,586,383
売上原価	671,872	590,787
売上総利益	899,496	995,596
返品調整引当金戻入額	300	200
返品調整引当金繰入額	300	200
差引売上総利益	899,496	995,596
販売費及び一般管理費	865,461	898,210
営業利益	34,035	97,385
営業外収益		
受取利息	7	6
通貨オプション評価益	6,165	—
受取補償金	326	3,823
その他	413	2,255
営業外収益合計	6,911	6,085
営業外費用		
支払利息	2,204	974
為替差損	4,471	422
その他	730	590
営業外費用合計	7,406	1,987
経常利益	33,540	101,483
特別損失		
減損損失	5,716	—
解約違約金	—	6,822
特別損失合計	5,716	6,822
税引前四半期純利益	27,824	94,660
法人税、住民税及び事業税	7,071	17,993
法人税等調整額	△971	△14,509
法人税等合計	6,099	3,484
四半期純利益	21,724	91,176

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成28年9月1日至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期損益計 算書計上額 (注) 3
	インターネット 販売事業	店舗販売事業	卸売販売事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	934,269	575,181	50,753	1,560,203	11,165	—	1,571,369
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	934,269	575,181	50,753	1,560,203	11,165	—	1,571,369
セグメント利益又は損失(△)	152,907	△37,992	1,716	116,631	9,587	△92,183	34,035

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、ライセンス事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用92,183千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期累計期間(自平成29年9月1日至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期損益計 算書計上額 (注) 3
	インターネット 販売事業	店舗販売事業	卸売販売事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	943,779	584,027	39,814	1,567,621	18,762	—	1,586,383
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	943,779	584,027	39,814	1,567,621	18,762	—	1,586,383
セグメント利益	141,505	48,139	1,812	191,458	16,631	△110,704	97,385

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、ライセンス事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用110,704千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整しております。